



校訓

なかよく かしくく たくましく

ちがいを豊かさに 自分に夢と自信を

令和6年2月22日 第22号 文責 梶原 圭一



◆◆県・町学力・学習状況調査の結果から◆◆

昨年12月に行いました熊本県及び菊陽町学力・学習状況調査の結果が届きました。本校全体の結果としては、国語及び算数で全国平均と同様、もしくは若干上回る結果となりました。学年によって問題量や難易度に差がありますが、子どもたちはよく頑張ったと思います。全体的に、読んだり書いたりする問題に、少々苦戦したようです。長文を読み解くことに時間がかかり、解答する時間が足りなかった子もいたのではないのでしょうか。様々なメディアの普及により、「読む」よりも「見る」「聞く」生活が中心となりつつあります。また、「書く」から「入力する（音声入力も含む）」機会が増えてきている生活様式が影響していないか心配になりました。どんなに世の中が変わろうとも、「読む」「書く」という習慣は、これから社会を生きていく中で欠かせないスキルとなります。今回の結果を受けて、今後さらに「読む」「書く」活動を大切に学習活動づくりに全職員で取り組んでいきます。

国語の調査結果に関するグラフ

算数の調査結果に関するグラフ

今回の調査の中で注目したのは、子どもたち一人ひとりの学習状況や学級の概要等を確認するi-checkの結果です。調査結果から、「自己認識」（家族の支え、友だちの支え、先生の支え）の数値が良好でした。多くの人たちが成長を支え、励ましてくれていることを実感しながら生活できていることが分かりました。さらに、「できた」「分かった」という成功体験から、自らに自信をもつこともできていたようです。一方、この調査から見えてきた課題としては、「規範意識」と「学習習慣」がありました。「規範意識」とは、社会のルールを守ろうとする意識のことです。ルールを守るとは、他者とともに社会生活を送るうえで、重要な意識だと思います。「面倒くさい」「やりたくない」「ちょっとぐらいいいだろう」という気持ちは、誰もがもっているものかと思いますが、周りの人たちの気持ちを考えるとともに、自分の目標達成のために粘り強く「やり抜く」力を磨いていく必要があると考えています。「学習習慣」の定着に向けては、ご家庭とより連携しながら進めていかねばならないと感じています。

今回の学力・学習状況調査の結果を分析し、学習指導及び生活指導の課題克服に向けて対策を考える研修も実施しました。本年度も残りわずかではありますが、子どもたち一人ひとりにしっかりと力を身につけさせ、次のステージへ進めるよう取り組んでいきたいと思っています。

◆◆演奏家派遣アウトリーチ事業◆◆



菊陽町の「演奏家派遣アウトリーチ事業」として、町内在住のピアニストの方をお迎えし、6年生にピアノの演奏を聞かせていただきました。シューマンの「トロイメライ」やショパンの「ノクターン」など5曲を演奏され、子どもたちもしっかりと耳を傾けている様子が伝わってきました。子どもたちが美しいものや言葉により多く触れ、さらに心を豊かにしていただけることを願っています。

<今後の主な予定>

3月 5日（火）	地区児童会	3月21日（木）	卒業証書授与（5・6年生のみ参加）
3月 7日（木）	授業参観・学級懇談会	3月22日（金）	令和5年度修了式
3月11日（月）	お別れ行事	3月28日（木）	退任式